

いずみ会／旧都立大泉中学校・都立大泉高等学校同窓会

会報 い ず み 第64号

発行／いずみ会 編集／いずみ会会報部
 〒178-0063 東京都練馬区東大泉5-3-1 都立大泉高等学校内
 事務所 東京都練馬区東大泉6-34-30 SKビル305号
 ホームページ <http://www.izumikai.com/> e-Mail izumikai@v7.com



主 な 記 事

- 2・3 評議員会
- 4～7 母校
- 8 緑蔭
- 9 ホームカミングデー
- 10～12 会員・同期会だより
- 13 会計から・寄付者一覧
- 14 声・訃報
- 15 お知らせ
- 16 会報配布について

よろしくお願いいたします。

会長 荒井 真理子



2020年度新役員です。総勢19名、力を合わせ、いずみ会の二本の柱、「会員相互の親睦」「母校支援」に則った活動を継承し、じっくり、真摯に取り組めます。さらに、いずみ会の中学1期から高校72期までの知識と経験の層の厚さを活用し、新たな交流の場として会を盛り上げていきませんか？ そのための工夫を皆様のお知恵も拝借して探していきたいと思ひます。いずみ会

をより元気に明るく楽しい会にして参りましょう。そのためにも、皆様の会費納入・ご寄付が大きな力となります。これからもご協力をよろしくお願いいたします。

さて、ご承知のように今年度は新型コロナウイルス禍に始まり、今もって予断を許さない状況にあります。母校も集団での行事を中止する折、いずみ会も10月に予定されておりました「ホームカミングデー・総会・懇親会」は、会員そして母校の皆様の健康と安全を考慮し中止する決断をいたしました。会報は例年どおりお届けすることができました。来年は元気に皆様にお目にかかれよう祈念し、楽しみにしております。

最後になりましたが今回退任されました方々です。大串康夫さん(高14期) 國谷俊之さん(高14期) 石川文武さん(高15期) 成田俊彦さん(高17期) 青木隆さん(高18期) 寺島孝さん(高18期) 田村明子さん(高19期) 浜田光さん(高21期) 平井秀明さん(高22期) 波多野由里さん(高28期) ありがとうございます。※新役員は3面をご覧ください。

本年度総会

残念ながら2020年度のホームカミングデー・総会・懇親会は中止といたします。

新成人の集い

村田 早紀(高70期)



2020年1月、私たち大泉高校70期生は成人の集いを開催することが出来ました。集いを無事に終えることができたのは、企画から当日まで尽力してくださったいずみ会の皆様のおかげです。

勉強や部活動、学校行事に全力で取り組んでいた大泉での生活は鮮やかに思い出せますが、70期生が大泉を巣立ってからもう2年も経つんですね。卒業以来会

えなかった人とは2年ぶりの対面で、また成人の集いということで、皆が華やかな服を身にまとっていました。

再会の喜びと緊張を抱えながら始まった集いでしたが、変わらない笑顔を見て緊張などなくなり、充実した楽しい時間を過ごすことができました。お世話になった先生方もお迎えして、晴れ姿を見せることができ誇らしかったです。

当日までの準備は楽ではありませんでしたが「運営してくれてありがとう」という言葉と達成感を得ることができたので、集いを無事に成功できたことを嬉しく思っています。繰り返しになりますが、70期生のためにこのような機会を設けてくださったいずみ会の役員の方々に感謝申し上げます。

71期の皆様、新成人の集いを計画しています

評議員会報告

事務局長 山川 新

5月10日～5月31日にかけて書面審議による令和2年度定時評議員会が開催されました。今回の評議員会は新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、書面審議での開催という初めての試みとなりました。各評議員に対しては、資料送付による案内、往復はがきによる案内、メールによる案内と世代ごとに効率的な手段を用いて開催案内を送りました。期日までに返信のあった評議員は253名(議決権行使:154名、代理人に委任:19名、議長委任:80名)であり、いずみ会規約13条に基づく定足数175を満たしていることが確認されました。書面審議で動議された評議員会議長に國谷俊之評議員(14期)、議事録署名人に浜田光評議員(21期)、植村直人評議員(50期)が承認さ

れました。

第1号議案、令和元年度事業報告及び収支決算及び監査役からの監査報告を踏まえて書面により審議され、賛成多数で議決されました。

第2号議案、令和2年度事業計画案及び予算案について書面により審議され、賛成多数で議決されました。しかし、その後の感染症拡大傾向が収まらず令和2年度事業計画については、総会・ホームカミングデーの中止、各学校行事等の中止と議決された事業計画の見直しを余儀なくされました。

第3号議案、役員選任については提示された役員候補者(会長1名、副会長3名、理事12名、監査役3名)の計19名全員が役員として賛成多数で承認されました。

第4号議案、顧問委嘱については前会長の大串康夫氏に委嘱することを賛成多数で承認されました。

尚、審議事項ではありませんが、次年度より「会報いずみ」の郵送部数を見直し、一定の会費納入条件を満たした会員の方のみに郵送することとしました。今後も会員の皆様には会費納入を引き続きお願いします。また、本年度中止となりました総会後の懇親会幹事は引き続き「0の会」をお願いする事としました。

以上をもって令和2年度定時評議員会は書面審議を以って終了しましたが、「いずみ会規約」には評議員会の書面審議による開催方法について規定されて無いため、今回の開催を機に規約の見直しを進めたいと思います。

第1号議案 令和元年度 事業報告

いずみ会は規約に沿って、次の事業を実施した。

第1. 定時評議員会

いずみ会の最高議決機関である定時評議員会を令和元年6月1日(土)に母校食堂で開催した。評議員は開会時81名(最終96名)出席し委任状提出者186名を加えて定足数175を上回り評議員会は成立した。平成30年度事業報告、規則改正、令和元年度事業計画案を承認した。

第2. 理事会、監査会等の活動

令和元年度は、理事会を11回、監査会を2回開催した。

第3. 会報の発行・広報活動の充実

1. 会報いずみ第63号を令和元年10月1日に発行した。主な記事は次の通りである。

- ・令和元年度評議員会報告
- ・平成30年度母校キャリア教育
- ・同期会報告

2. ホームページ (<http://www.izumikai.com/>)

- ・「サークル活動」を「会員、及び、サークル活動」に改称し、サークル活動案内とともに会員個人の活動を掲載した。
- ・同期会案内を掲載した。
- ・令和元年度末時点で累計アクセスは昨年度末より9万件増え60万件を超えた。
- ・体育祭、文化祭、卒業式、入学式など母校の行事をタイムリーに報告した。

第4. 総会

令和元年10月26日(土)118名が出席し母校食堂にて開催した。いずみ会の活動や母校関連事項の報告を行った。続いて29期西村克之さんの講演があり、その後、「9の会」の企画運営により「新時代、0和につなぐ9の会」というキャッチフレーズの下、懇親会を行い、最後に「9の会」より「0の会」への引き継ぎを行った。

なお総会に先立ちホームカミングデーを実施し、母校の協力を得て日本文化部の生け花、文芸部書道部の書道パフォーマンス、日本文化部の箏曲、合唱部の合唱、吹奏楽部の演奏を披露された。また吹奏楽部OBBOGによる演奏もあった。協力した在校生は懇親会にも参加し世代を超えた大衆生としての貴重な時間を過ごすことができた。

第5. 会員情報の整備

1. 会員情報の整備に向け、令和2年3月に会員情報部会を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。
2. 「高校72期の名簿」を作成し、新会員へ配布した。
3. いずみ会個人情報取扱規定に則って、同期会およびクラス会などの開催を支援した。

第6. 財政管理

1. 会費納入率の向上加等の増収対策を今年度の課題としたが、残念ながら会費は前年度比92%と減少し、特に今年度納入分は前年度比84%と大きく減少した。寄付金は前年度比93%であった。
2. 入会金は母校の協力を得られ100%の新会員が納入した。
3. 令和元年度収入全体で見ると予算比96%、前年度比94%となった。
4. 会の財政を改善するために経費節減に努めた。
5. 運用効率向上のため平成27年度から導入したクラウドシステムが稼働しているが規則改正に伴いシステムの改修を行っている。

第7. 母校及びPTAとの連携

1. 母校の発展に寄与するため、社会人講話、中学生への英語教育、その他の学校諸活動への支援を行った。
2. 令和元年9月開催の母校文化祭で、いずみ会のPRを図った。
3. 令和2年1月に70期の新成人の集いを母校、PTAと連携し支援した。
4. 令和2年3月に72期195名が入会した。「いずみ会入会式」を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。
5. 卒業生全員に記念品を、皆勤賞受賞者28名に副賞を贈呈した。

第8. 人材バンク活動

1. 多彩な人材の発掘と登録を行い、母校英語教育や社会人講話に活用した。
2. いずみ会活性化のベースであるサークル活動へ支援を行った。
3. 会員相互の交流を促進するための仕組みを検討した。

第9. いずみ会の活性化

部活動支援の推進および会の活性化を図るため、昨年度に引き続き部活動OB/OG会代表との意見交換会を予定したが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

第10. 同意会の輪

平成31年4月および令和元年12月に開催された都立高校同意会連絡協議会に参加し、協議会の規約改正を議論した。

第11. 新役員改選準備

理事会が選挙管理責任者として石川副会長を選出し令和2年度改選の準備を行った。

以上

第二号議案 令和2年度 いずみ会 事業計画(案)

第1. 定時評議員会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年5月31日に定時評議員会を書面審議の形態で開催する。

第2. 理事会、監査会等の活動

1. 原則として理事会は毎月、監査会は年2回開催する。

2. 各期評議員の登録更新を年度末までに行う。

第3. 会報の発行、広報活動の充実

会報を令和2年10月に発行する。

第4. 総会(ホームカミングデー)の開催

令和2年10月下旬に開催を予定しており、総会開始前に学校の協力を得てホームカミングデーを実施する。懇親会は「0の会」が企画運営する。

第5. いずみ会の活性化への取組

1. 若手評議員を理事会に招待し世代を超えて意見交換する。
2. 部活動OB/OG会との意見交換会
3. 初めての同期会立ち上げ支援
4. 新成人の集いを支援
5. 会員へのアンケート実施
6. SNS導入をはじめ情報発信力の強化
7. 趣味だけでなく趣味以外のサークル立ち上げなど会員相互の交流促進

第6. 財政管理

規則改正に伴う新しい会費制度に対応した会計システム機能追加等を行う。

総会、評議員会、同期会などの場ではいずみ会の現状を伝え会費納入を呼び掛ける。

同意いただいた評議員には評議案案内をメールで送付する。

令和3年度より会報送付対象者を限定し費用節減に努める。

第7. 会員情報の整備

1. 会員情報整備に向けて、各期会員情報部幹事を確認し積極的な活動を促す。

2. 個人情報保護の観点から不要名簿の回収に努める。

3. 「高校73期の名簿」を作成、配布する。

第8. 母校及びPTAとの連携

1. 母校PTAと協力して幅広い母校支援を推進する。

2. 母校の発展に寄与するため社会人講話、部活動支援等を行う。

3. 文化祭等様々な場を通して、在校生や保護者にいずみ会への理解を求めていく。

4. 新成人の集いを学校、PTAと協力し実施する。

第9. 人材バンク活動

1. 多彩な人材の発掘を行い、登録制度を活用して活躍の場を拡大する。

2. サークル活動等、会員相互交流の場を強化する。

第10. 将来に向けての運営システムの改革

会の活性化、収入の仕組等を検討していく。

以上



評議員会議題の全文についてはホームページ「お知らせ・評議員会資料」をご参照ください。

◇高72期新評議員紹介◇

- | | | | |
|----|----|----------|-------|
| 1組 | 丹波 | 有稀さん・前田 | 羽那さん |
| 2組 | 草野 | 裕さん・橋本 | 佳代子さん |
| 3組 | 大阪 | 菜都子さん・吉田 | 直人さん |
| 4組 | 北村 | 嘉大さん・成松 | 裕香さん |
| 5組 | 鎌形 | 勇太さん・竹山 | かおるさん |

令和元年度 収支決算書

(自令和元年4月1日～至令和2年3月31日)

単位:円

【収入の部】

科 目	令和元年度実績
入会金	905,000
会費	1,682,000
寄付金	1,052,000
総会参加費	349,000
名簿関係収入	30,000
広告収入	153,600
雑収入	66,653
合 計	4,238,253

【支出の部】

科 目	令和元年度実績
総会関連費	394,739
役員・評議員会合費	225,198
広報費	3,040,424
会費関連費	411,167
会員情報関連費	28,779
母校連絡費	56,995
会員活性費	104,151
いずみ会室関連費	677,288
雑費	2,258
予備費	0
母校支援費	240,492
合 計	5,181,491

【収支の部】

項 目	令和元年度実績
当期収入	4,238,253
当期支出	5,181,491
当期収支残	-943,238
前期繰越金	14,304,393
次期繰越金	13,361,155

令和2年度 予算案

(自令和2年4月1日～至令和3年3月31日)

単位:円

【収入の部】

科 目	令和2年度予算
入会金	985,000
会費	1,644,000
寄付金	1,150,000
総会参加費	350,000
名簿関係収入	40,000
広告収入	160,000
雑収入	50,000
合 計	4,379,000

【支出の部】

科 目	令和2年度予算
総会関連費	400,000
役員・評議員会合費	230,000
広報費	3,040,000
会費関連費	710,000
会員情報関連費	50,000
母校連絡費	60,000
会員活性費	120,000
いずみ会室関連費	700,000
雑費	10,000
予備費	100,000
母校支援費	400,000
合 計	5,820,000

【収支の部】

項 目	令和2年度予算
当期収入	4,379,000
当期支出	5,820,000
当期収支残	-1,441,000
前期繰越金	13,361,155
次期繰越金	11,920,155

いずみ会「年会費」に関する規則が今年度(令和2年度)より変わりました。

- ◎ 年 会 費：いずみ会会員は、**年会費1,000円**を納入するものとします。
(ただし原則的に本会入会后7年目までの会費は免除)
- ◎ 会費免除の条件：年齢にかかわらず入会金を納入し、累計45年分の会費を納入した場合。
ただし平成22年度分までは、全会員が会費を納入したものとみなされます。
また、令和元年度までに満70歳に達した方、ならびに会費納入を完了された方を除きます。
- (本規則は令和2年4月1日より施行)

新役員紹介

会長	荒井真理子(高20期)
副会長	富井利尚(高18期) 会報部長・ホームページ部長兼務 岩崎誠(高18期) 人材バンク部長・会員情報部長兼務 山口達夫(高20期) 会計部長兼務
事務局長	山川新(高24期)
総務・企画部長	真柳仁(高24期)
理事	檜原猛夫(高18期) 田邊夏樹・安岡章雅(高21期) 花澤亮司(高22期) 山田嘉彰・古畑基樹(高28期) 山本孝文(高30期) 棟方隆一・小倉扶美子(高32期) 植村直人(高50期)
監査役	布施百合子(高14期) 水野國雄(高19期) 妹尾和夫(高21期)

●会費納入お忘れなく!

ご寄付もお待ちしています!

会報が到着しましたら同封のゆうちょ銀行払込票をご覧ください。それぞれの納入情報が記載されています。それに従って会費納入をお願いいたします。いずみ会運営の財源は皆様の会費、入会金、寄付から成り立っています。よろしくお願いいたします。

母校の現況

校長 俵田 浩一



いずみ会の皆様方には日ごろより本校の教育活動にご支援・ご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

今年度の学校の概況について御報告いたします。今年度の東京都教育委員会からの指定は6つです。知的探究イノベーター推進校(都内3校)、英語

教育推進校、海外学校間交流推進校、文化部推進校(将棋部門)、オリンピック・パラリンピック教育文化プログラム学校連携事業実施校、新規にSociety5.0に向けた学習方法研究事業に係る研究校の指定です。

現在、新型コロナウイルスの影響により、教育活動に大きな影響がでています。3月2日の期末考査初日から5月31日まで、ほぼ3カ月間の臨時休業となりました。この間生徒は、4月6日の始業式に登校しましたが、入学式は中止となりました。

臨時休業中の学習への対応については、YouTubeによる授業動画の配信、郵送による課題の発送、ZoomやWebexを利用したオンラインHRの実施等に取り組んできました。

6月1日からは、登校時の健康チェック、3密の回避、教室等の消毒など感染防止対策を徹底する中で、生徒の登校を再開しました。6月17日からは、中学校の給食と部活動を再開しました。7月1日からは、全校生徒が一斉に登校しており、新型コロナウイルス感染防止対策を行ないながら、生徒の学力保障に向けて学校全体で取り組んでいます。

今年度の行事については、体育祭、文化祭、海外修学旅行等が中止になりました。

この春の現役生の主な合格状況は、難関大学の東京大学4名、一橋大学の3名、東京工業大学1名、旭川医科大学医学部1名、東京医科歯科大学歯学部1名をはじめとして国公立大学に40名、早慶上理に67名でした。

今年度は高等学校入試が最後の年となります。入試科目は5教科全て都立高校共通問題で実施いたします。

最後に、令和4年度に創立80周年記念式典を行うための準備を今年度から進める予定です。

長谷川 誠	(板橋区立板橋第二中学校)
若林 準也	(練馬区立南が丘中学校)
主任 萩原 由紀子	(大泉特別支援学校)
主事 柴田 若菜	(新規採用)

【転出】() 内は着任校

副校長 松永 今日子	(両国高校附属中)
理科 田口 弘子	(三鷹中等教育)
英語 中村 優	(府中高校)
養護 松本 志江	(富士高校)
国語 若井 尚子	(田柄高校)
生物 神沼 幸太	(杉並工業)
実習助手 福島 麻美	(大山高校)
英語 大久保 八千代	(世田谷総合)
田村 佳子	(退職)
田岡 佑太	(日比谷高校)
斎藤 幸子	(千代田区立麹町中学校)
長岡 彩子	(日野台高校)
数学 島田 礼子	(富士高校)
公民 富森 浩	(退職)
主任 鈴木 恭子	(練馬区立大泉学園中学校)
主事 伊藤 幹雄	(退職)

主な学校行事

新型コロナウイルス感染症対策として、今年の学校行事は例年と大きく変わっています。

1. 長期休業日 夏季休業日 8月 8日(土)～8月23日(日)
冬季休業日 12月26日(土)～1月 3日(日)
2. 主な学校行事
(中止) 入学式、体育祭、文化祭、海外語学研修、探求合宿、他
(延期) 修学旅行、英語研修 (1月以降に予定)

新しい学校・新しい教育そして新しい世の中に

副校長 猪又 英夫

4月1日付けで都立大泉高等学校の副校長として着任しました猪又英夫です。本校が中高一貫校として新しい教育活動充実のために、これまでの経験を生かして一層努力してまいりる所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、世の中は新型コロナウイルスのために様変わりしています。学校現場も、5月まで生徒が登校せず、授業はオンラインで行うことになりました。本校の若い先生方は機動力や集中力があり、1週間ほどでオンライン授業の体制及び授業配信をスタートさせました。さらに、ベテランの先生方も若手から学びながら授業を配信している姿は、とても心強く感じました。6月から授業を再開しましたが、学年毎の分散登校など変則的な形態で行っていました。また、生徒が一番輝く体育祭、文化祭、台湾への海外修学旅行などの行事や部活動の公式戦も中止となり、残念な状況となっています。

世の中、学校も大きく変わっていく中、生徒にとって何により良い教育なのか日々考えさせられます。大泉高校が掲げる「探究と創造」の授業のように、正解のない課題に先生方、保護者、同窓会の皆様と取り組み、生徒にとってより良い学校にしていきたいと思っています。皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

教職員異動(敬称略)

【転入】() 内は前任校

副校長 猪又 英夫	(鷺宮高校)
理科 上野 泰弘	(板橋区立板橋第一中学校)
英語 為藤 伶奈	(新規採用)
養護 戸倉 まどか	(都立武蔵高校)
国語 辻居 伸江	(新宿高校)
生物 茂木 高志	(世田谷区立上祖師谷中学校)
実習助手 仲川 由美	(戸山高校)
英語 高橋 初美	(葛飾野高校)
甘利 さやか	(千代田区九段中等教育)
鈴木 英之	(保谷高校)

職業講話

いずみ会では中学3年を対象にした職業講話への講師派遣依頼を受け、実施することができました。日を追うごとにコロナ感染が拡大し、トイレットペーパーが日本中のスーパーから消える前日、母校での職業講話の日がやってきました(柳典子)。正門をくぐると懐かしい高校生活が蘇ってきましたが、その先にはモダンな校舎があり、時の流れを感じました。(松橋京子)



前列左から 山川・関屋・松橋、後列左から 柳・棟方・岩本・矢田先生

いました。出会いで大切なものは、伴侶、職業、住まいと提案したところ、友人、趣味も大切と、自分の考えを述べてくれました。最後に「ビジネスマン人生で最大の失敗は？」と質問され、若いころの大失敗を正直に伝えました。

何とも、しっかりした優秀な人材が育ちつつあることを確信し、改めて母校に誇りを持ちました。

★工学という道で、世界の技術革新のために仕事に注力した生き方にとってもあこがれを抱いた。★人生の成功は「努力、自信、認知スキル」のほか「非認知スキル^注」が重要である。中・高生活や大学受験は非認知スキルを身に着けるのに大切な期間だから、これからの生活を大事にしていきたい。★大学で何を学ぶか考えたとき、学部も学科もたくさんあり、自分のなかにある世界が、いかに狭いものであるか実感した。広い視野のなかで考えていきたい。

注) 非認知能力：創造性などテストでは測定できない能力。学力(認知能力)と対照して用いられる。

山川 新(高24期)

「Made in Japan の化粧品」



大学を卒業して35年間、化粧品会社で過ごした体験談を「化粧品の製品開発期」、「化粧品の量産開発期」、「化粧品の市場供給期」の3章に分けて話しました。

製品開発期では香料・スキンケア・ヘアケアとそれぞれの開発手段の違いから、仕事に興味を持つことができ、自らが積極的にトライすることの大切さを伝えました。量産開発期では多くのメンバーと協力して商品を大量生産できる手段を具現化する大変さと面白さを伝えました。市場供給期では企業として継続可能な条件を踏まえて、需要の予測と生産計画について理解してもらいました。

【私立大学】594(519) その他含む

早稲田 36(35)、慶應義塾 8(7)、上智 6(6)、東京理科 20(19)、青山学院 13(12)、学習院 7(5)、法政 47(42)、中央 34(31)、明治 41(35)、立教 33(32)、成蹊 20(19)、成城 5(2)、武蔵 15(9)、日本 32(29)、東洋 38(34)、駒澤 8(5)、専修 8(5)、北里 1(1)、工学院 1(1)、國學院 5(5)、国際基督教 1(1)、芝浦工業 9(9)、順天堂 1(1)、津田塾 5(5)、東京女子 11(9)、東京電機 4(4)、東京農業 14(13)、東京薬科 1(1)、東京工科 3(3)、東京都市 1(1)、獨協 2(1)、日本女子 8(7)、武蔵野 6(6)、明治学院 5(5)、桜美林 10(10)、帝京 9(7)、東海 3(2)、近畿 4(4)、関西 1(1)、関西学院 1(1)、同志社 1(1)、立命館 5(4)

【大学校、専門職大学】2(2)

水産大学校 1(1)、情報経営イノベーション専門職大学 1(1)

進路

2020年度 都立大泉高等学校 主な大学合格者数 ()内は現役

【国立大学】41(33)

東京 6(4)、京都 1、一橋 4(3)、東京工業 1(1)、北海道 2(2)、旭川医科大学・医 1(1)、東北 1(1)、九州 1、東京医科歯科 1(1)、お茶の水女子 2(2)、東京学芸 5(3)、千葉 2(1)、東京外国語 1(1)、埼玉 2(2)、横浜国立 2(2)、筑波 2(2)、群馬・医 1(1)、東京海洋 1(1)、宇都宮 1(1)、静岡 1(1)、三重 1(1)、愛媛 1(1)、広島 1(1)

【公立大学】8(7)

東京都立 8(7)

化粧品会社の仕事を通じて私の人生で学んできたことを少しでも理解してもらえれば幸いです。

★様々な仕事を経験して多くの知識を得ること、学んでいくことがすごく大切なのだと思います。物事を右から左に流さず、興味を持って限られた時間をどのように使っていくか自分で選ぶことが大切だ。★私はまだ将来の夢は決めていないけど、今頑張って勉強して、将来の可能性を広げたいと思った。★自分のかかわったものを最後まで見届ける大切さを学ぶことができた。

松橋 京子 (高24期)

「自由な選択でチャレンジした人生」



講話のテーマは標記のほか「人生のおもてなし感性を磨き自分を極める」をサブテーマに話しました。

そのなかでスタンフォード大学のジョン・D・クルンボルツ教授の「キャリアは予期しない偶然の出来事によって、その80%が形成される」という言葉を引用して、「人生は思い通りに行かないこともあるけど、グローバルな視野でいつもポジティブにチャレンジして欲しい」ということを自分の経験を交え、伝えました。規則正しく、優秀な生徒が多く、私が付けていたSDGsのバッジのことも知っている生徒もいて知識の高さにびっくりしました。

思いもよらないCOVID-19(コロナウイルス感染症)の登場で、新しい時代への大変革の時期なのだとしみじみ思います。人生の向き合い方も経済も変わっていくこれから、時代に沿って柔軟に考え、優しさを忘れずに、粛々と「未来」へ向かってください。

★何事にも苦手意識を持たず、積極的に興味を示し、来たチャンスをしっかりつかみたいと思いました。★一人ひとり性格も感性も才能も違うのは当たり前で、人と違うところがあるからダメなのではなく受け入れたい。★あまり好きでないことも将来に活かすために一つ一つ取り組んでいこうと思う。「自分には何ができるのか?」「何をしたいのか?」悩んでいるので、考える手がかりを与えてもらった。

柳 典子 (高28期)

「デザインってなんだろう、何ができるの?」



私の略歴ですが、日本の女性TV-CM.Dir.の先がけとなり、仕事でも幾つかの広告賞に恵まれました。子育て期に始めたPOE/ポーという靴と傘ブランドではデザイナー&CR.Dir.^{注)}。昨年、新会社を創業しています。講話の前半は、パワーポイントでDESIGNの語源と本質、全体像未来をビジュアル化し、後半は、経験談のトーク中心としました。

後日いただいた聴講した生徒のアンケートのベスト3

では①前例無くとも自分がやりたいことはやってみるべき。②デザインには5つの分野があり、広い領域が知れた。③UX^{注)} DESIGNを知って為になった。特にこの3点が印象深かったようでした。その他「エンドユーザーのことを深く考えるのが大切」「どこにでもありそうで、どこにもないものを作る」が面白い。「良い未来を作るのはDESIGNの仕事という言葉がすごい。」(UXデザインを全身でダウンロードしてくれたみたいです。Good Job!)

「大泉の自由で闊達な風を受け、良い未来の担い手となってください。」母校の新世代にバトンを託させて戴いて本当に幸せな時間でした。

★アイデアはすぐに消えてしまう稲妻のようなもので、メモをする癖をつけること。★「『できない』と諦めないで、自分のやりたいことをやる。」という言葉が胸に刺さりました。前例がなくても、可能性を見いださなくても諦めずにやっていこうと思います。

注) ①Cr.Dir.(クリエイティブディレクター):プロジェクトの中の最高責任者。コンセプト、予算配分などの決定権がある。

②UX:「User Experience(ユーザエクスペリエンス)」の略。ユーザー体験のこと。

棟方 隆一 (高32期)

「医療人になること、大学院で学ぶこと」



私は武蔵関駅近くで歯科医院を開業しています。

皆さんは医療系学部へ通う年数をご存じでしょうか? 医学部、歯学部、薬学部^{注)}、そして獣医学部は大学6年間のカリキュラムで構成されています。

私は新潟大学へ入学しましたが、大学での講義が月曜日から土曜日まであり、ひとコマが110分でした。大学生活以外の時間に余裕はなく、部活動を楽しむ以外に、せいぜい家庭教師をする程度です。そのような6年間を経て卒業時に待っているのが卒業試験です。医療系学部は6年間で履修してきた全教科の試験に合格しないと卒業できません。この地獄の卒業試験に合格して、その後の国家試験に合格した者だけが資格を与えられるのです。

その後、大学院博士課程へ進学しました。大学院では、教官の指導の下、癌の研究をしました。そして4年目に博士論文を書き上げて終了となります。4年間は貧乏ですが、研究生活は貴重で楽しい時間でした。

★大学を出て就職することが大切なのではなく、自分のやりたいことを突き詰めていく方が、人生楽しい方向に向いていくのかなと思った。★医療の世界は基礎と臨床で違う。「学生時代に知識を積むことは将来のために役立つ」と信じて勉強することが大切だと学びました。自分に合った道を自分でよく考えて進んでいきます。

注) 薬学部には4年制と6年制がある

岩本 一盛 (高39期)

「幼児教育、保育の重要性・保育園での仕事と魅力」



私自身が人生のそれぞれの岐路において、何を考えたように意思決定して、現在に至っているかといったことを中心に話しました。

高校時代については「自由と挫折」をキーワードとしました。中学時代にケガで思うように練習できなかったバスケの思いから高校でもバスケ部に入り毎朝自主練をしたこと、ひざの痛みの再発と1年生の夏で部活をやめたこと、その後大きな挫折感と自由な校風に押しつぶされそうになったこと、そのような状況で、フォークギター、浜田省吾、いろいろなアルバイト、自転車、キャンプ、フライフィッシング、受験勉強はなんの意味があるのか…いろいろ経て受験勉強にはいったこと等、話しました。

この時の経験は、その後人生のさまざまな意思決定に大きく影響を与え役に立ったことを熱弁しました。

現在の学校の環境・設備はとても素晴らしく、私の在籍時の面影は桜並木にしろろじに残っている程度でしたが、職業講話の機会をいただいたのはこのうえない喜びでした。

★「すばらしい命」の映像が切なくて、印象に残った。保育の仕事は子供の成長をじかに見ることができ、やりがいのある仕事だと思う。★改めて身近な人に感謝をしたいと思えるようになりました。周りの人から愛を受けて、育ててもらっているということ、よく自覚して行動したい。★「幸せとは何か」という問いが身近な問いでありながらも深く、とても考えさせられた。★人と人は支えあっていかななくてはいけなくて、自分を支えてくれる人を支えている人がいるということを忘れないようにしたい。

特別 講話

神山 孝吉 (高20期)

「日本南極地域観測隊への参加体験」

日本の南極観測は、日本南極地域観測隊を中心に1957年の昭和基地開設・越冬開始以来ほぼ毎年継続して行われ、かれこれ60年以上の歴史を有する。基地ではこの間南極での自然現象の観測を続けてきた。

京都大学理学部を卒業後同大学院で地球物理学を専攻してきたので、対応分野の観測隊員として南極観測に参加することになった。1984年・1991年・2001年・2005年の4回にわたり、対応年12月ごろ昭和基地に入り、翌々年の2月頃まで南極地域での越冬観測を続けてきた。この間、基地の生活・観測環境の向上を実感したものの、一方厳しい自然環境であることは変わりがない。特に2001年から2003年にかけての観測隊では、翌年の観測隊にNHKが参加しテレビ放送開始50周年記念事業「地球環境キャンペーン」の一環として昭和基地からの通年放送を行うことを昭和基地受入側として協力した。彼らが天気の良い夏期間中での作業に集中する中、帰国準備をしながらも既に体制が整っている観測隊として支援し衛星ネットワークを通してメディアに出る機会も多かった。

南極観測開始当時の話題は、直接ラジオ・新聞などを通して確認した人、その後当時の話題の一部(置き去られた樺太犬を含めた活動など)について高倉健主演の映画やNHK・プロジェクトXなどを通して知った人も多いかもしれない。現在では観測活動・それを支える各種インフラの維持管理など大規模化・多様化しており、観測活動・観測隊員の情報などは直接インターネット検索で確認できることも多い。

日本では各観測隊員は一年交代であるため基地の維持管理も含めて当初は不慣れで戸惑う面も多い。また限られた人数で対処するためお互いに助け合うことも多々経験する。大変であるが、逆に限られた空間・人数で基地情報を共有し維持管理を担いあうなど興味深いことも多い。例えば設備などは整っているものの、対応分野の医師は限られ支援する看護スタッフは不在である。事故があれば業務の優先順位を考慮し、全員で対処することになる。写真は雪上車がクレバスに落ちた事故当時の現場確認の写真である。



クレバスにはまった雪上車
(ヘリコプターから撮影)

観測期間中一番印象に残った事件だった。この救出には、現場確認のためのヘリコプター・現場での救出用雪上車・想定されるさらなる事故への対処などを様々な状況を理解している複数の隊員の支援が重要だった。当然参加する隊員の計画していた通常業務は一時中断することになり、業務への影響を最小限に抑えるべくほとんどの隊員の作業に影響する。隊員全員で目的を共有し解決に当たるなど興味深い体験だった。当時の越冬中の経過などを含めては右のQRコードから報告書をご覧ください。



【略歴】 第43次南極地域観測隊(越冬隊長)(2001-2003)
国立極地研究所 研究教育系 教授(2004-)
第47次南極地域観測隊(越冬隊長)(2005-2007)



緑 蔭



「大泉」と四度の出会い

平野 和夫 (高6期)

私は昭和29年3月卒業でその後66年が過ぎようとしています。生まれは母校の隣町南大泉。「大泉高校」との「四度の出会い」を紹介したいと思います。

「第一の出会い…昭和15年」

4歳の夏、近くに住む叔父に自転車で連れられて行った、雑草が風に揺られて棚引く広大な敷地。「ここは軍馬の練習場だよ」といわれて領いただけでしたが、この場所こそ我が母校「大泉」の敷地の前身であったのです。

「第二の出会い…昭和23年～」

昭和23年に区立大泉第二中学校に入学。校舎がまだなかったため、7ヵ月間だけ都立大泉高校の一部を間借りしていました。高校からの制約が結構あり、肩身の狭い思いをしましたが、音楽だけは高校生用の音楽室、先生は岡部先生に教わり、この時だけは附属中学校の生徒になった気がしました。先生のピアノに合わせて歌った「冬の星座」「オールドブラックジョー」「ヴォルガの舟歌」は未だに忘れられないものになりました。

「第三の出会い…昭和26年母校入学」

広大なグラウンドは雨が降れば大きな水たまりに、冬の教室には石炭ストーブが一つだけ、まだ十分な設備のなかった3年間の思い出は、修学旅行と富士登山。3泊4日の京都・奈良への修学旅行は片道11時間の夜行列車。山岳部約20名での富士山には1合目から足を棒にして、途中1泊して山頂へ。御来光を拝み3,776mを制覇しました。

「第四の出会い…平成27年～」

中高一貫校とし6期生として孫が附属中学校に入学し、母校懐かしさに久しぶりに文化祭・体育祭へ足を運んだ。十分に整備された校舎・グラウンドを見て、さぞ教育内容も充実していると思うに、今の生徒さんはなんて幸せなんだろう…と、痛感しています。西武線の車窓から見える校舎・グラウンド・桜並木・富士山そして校名看板等の光景は、生まれ変わった「大泉」を祝福しているかのように思えます。

昭和15年からちょうど80年、昭和・平成・令和、この伝統を誇る母校の益々の発展と、生徒・OB・教職員他関係者の皆様のご健勝とご多幸を祈念しています。

…編集部より…

今回平野様から頂戴した貴重な投稿を全文掲載したかったのですが、紙面の都合上、主要部分のみ抜粋させていただきました。全文はHPに掲載させていただきますのでそちらもぜひご覧ください。

「11期の宝物」

関山 一郎 (高11期)

11期の宝物は、「カルチャートーク」です。始まりは、1990年に開催した「第四回同期会」で来賓の堤治美先生が、「せっかく集まるなら、きみたちの体験を話したらどうか」と言われたことからでした。早速、幹事会で討議。「カルチャートーク」と命名し、スピーカーは11期生に限ることにして、同年7月、第一回を開催しました。テーマは「茶道は日本の架け橋になり得るか」。スピーカーは神田外語で英語を教え、アメリカで茶道を教えた広瀬芳子さんでした。以後、ほぼ1年間に2回、開催してきました。

私たち11期は、1959年に母校を卒業し、'60年代前半に社会に出ました。「所得倍増計画」が始まり('60年)、東京オリンピックが開催された('64年)、高度成長の時代でした。建築、コンピューター、商社、報道、学術、医学、美術、演劇、ダンス…などへと、私たちが進出した世界は実に多彩でしたから、トークは幅広く展開していきました。

サッカーの名指導者や人気アナウンサーもいます。ブラジルで大型商談を実現した人、カリフォルニア半島で大規模製塩に取り組んだ人、マリでODA活動に従事した人、シカゴの領事館で邦人のトラブルに対処した人など、海外での活躍も豊富でした。医師からの役立つ提言や、写真、バードウォッチングなど人生を豊かにするトークもありました。沖縄の歴史を学び、深大寺や川越の歴史散歩もしました。つくば宇宙センターや防衛庁、東京芸術大学でのトークもありました。こうして「カルチャートーク」は28年間、42回続きました。2017年6月の最後のトークは「人生いろいろ」。50名の参加者が、それぞれの歩んだ道を語り合ったとき、その積み重ねがこの時代の歴史を形成していることを、全員が実感したのでした。

このほど私たちは「カルチャートーク」全記録を掲載した「11期会報」を合本にまとめ、母校図書館の「いずみ会文庫」に収めました。

なお、11期はすでに同期会活動を終了したのですが、全員が80歳を迎える来春にまた集まることを企画中です。



いずみ会総会 ホームカミングデー 懇親会

秋晴れの10月26日、令和1年度定期総会と第3回ホームカミングデーが開催されました。

同窓会の茶の湯サークルによるお抹茶接待、在校生の皆さんによる日頃の練習成果の披露、懇親会では「9の会」による在校生を交えての歓談等、母校での楽しい一日を過ごしました。



まじめな総会



校歌斉唱



書道班のパフォーマンス



箏曲班 和の調べ



吹奏楽部アンサンブル



合唱部のハーモニー



華道部



同窓会サークル



懇親会風景

会員の集い

高8期

令和初の同期会

鹿児嶋 英子

令和元年11月18日、池袋第一インホテルで8期同期会を開催しました。私たちが入学した同じ年に新任された副担任の中山雄一先生と共に40数名が集いました。昨年よりは10名ほど少なく寂しいですが、今日元気で来られた事は幸せです。

会は万年幹事長の名司会で始まり、時々笑いや辛口を交え進行了しました。同期生のスピーチは、愛(夫婦、親子)について語る人、ラグビーへの想いを熱く語る元? ラグーマン二人、遠方から少々不自由な身をおして参加した元? 文学青年の話と多彩でした。その後、幹事二人の認知症予防に関するレクチャー。初めに、いきなりPPKってと問われ、びっくり。(ピン、?、?)の由。もう一人は実際に手足を動かして(ジャンケンも含めて)の予防体操をリード。二人のおかげで笑いの渦があちこちに。

締めは例年の如く、中山先生と大泉OBOG合唱団のKさんの指揮で校歌、校友の歌の大合唱で閉会。早めに撮った記念写真をお土産に散会となりました。



大泉高等学校第8期同期会

高10期

高10期同期会



2019.10.10 於: リュド・ヴィンテージ目白

高14期

令和の同期会

國谷 俊之

私達の還暦(平成15年)の年に14期の同期会は毎年開催することを決め、今年も令和で初めての同期会を例年どおり10月

14日に、12時から池袋のピノ(ホテル第一イン)で開催しました。参加者は中山雄一先生を含め34名でした。

開始時刻12時過ぎに集合写真を撮り、昨年の同期会以降に亡くなった6名の同期生を紹介し偲び、今まで亡くなった恩師や同期生の黙祷を捧げたのち、代表幹事の布施さんの開会挨拶に移りました。

次に恩師挨拶で中山雄一先生のお話をいただき、先生は澆瀨として昔と変わらないお姿には感銘を受けました。広瀬和清先生には今回は都合が悪く参加できませんでしたが先生からのお手紙を司会の吉津さんに代読していただきました。先生方お二人とも、90歳を超えていてもお元気で、その健康の秘訣を学びたいものです。

乾杯の音頭は毎年参加している田村さん。つづいて歓談タイムに入り、高校時代の思い出を語る人、現役顔負けの仕事をしている人、病気を乗り越えつつある人など話は盛り上がりました。

会は進み、恒例の長谷さんの最近の同期会の催しの報告スライドや、三森さんによる高校時代のスライドショーを楽しみました。また、今回は歓談の合間に、各地でボランティアとして現在も活躍している吉川さんによる余興(腹話術や演芸)披露で皆から拍手喝采を受けました。



大泉高等学校 第14期 同期会

東北大震災

風化させないために わたしたちは!



高木自動車代表取締役 高木登茂子 (高14期)

〒353-0001 埼玉県志木市 TEL. 048-473-0039

会の時間も少なくなり、校友の歌、校歌を歌い、大串さんからいずみ会のお知らせと大締めで3時間の会を終了しました。

来年は喜寿の年になり、70歳代後半になるので、同期会も終わればという声もありますが、中山先生、広瀬先生がお元気なうちはやらなければと考えています。来年も元気で集まりたいと思います。

高16期

高校16期同期会(くぬぎ会)の2019年開催報告 及び2020年秋開催の中止のお知らせ

くぬぎ会幹事 西川 隆、橋元 宏

高16期同期会(くぬぎ会)を2019年10月に池袋レストラン「ピノ」で開催しました。くぬぎ会開催は今回で連続6年目となり、その間に出席者数は対数的に減少し今回39名でしたが収束域に達しています。



会は橋元幹事の挨拶で始まり、校歌斉唱・集合写真撮影・歓談・スライド映写(欠席者の近況報告など)・ショートスピーチが続きました。歓談の内容は「軽くぶつただけで骨折した」「睡眠導入薬が欠かせない」「ヘモグロビンA1cが6.5%に下がった」「放射線照射のガン治療を受けた」等で健康関連が多い。池袋まで辿りつけても73~74歳の皆様の健康度はソコソコ。しかし中には年3回も富士山登頂をするという元気者もいれば、ご夫婦協力されて花の絵素材集(「花 水彩flower素材集」、DVD-ROM付き)を著し数か月前に出版した大久保(旧姓仙沢)さんのようにアクティブな方も。会の締め「校友の歌」斉唱。

さて、残念なお知らせです。予定していた2020年秋くぬぎ会開催は中止します。新型コロナウイルス禍を考慮し、 이메일幹事会で中止としました。次回開催の日時は決まり次第くぬぎ会員にご連絡いたします。皆様お元気に集う日を楽しみに!

高20期

「共に古希を祝う」令和元年10月6日(日)

関屋 収

40歳の時に始めた我が同期会も、5年毎、4年毎、3年毎と30年の歴史を経て、皆が70歳の古希を迎える令和元年に、第8回を迎えることができました。15時から18時、ホテルメトロポリタン池袋「桜の間」に、98名が集いました。毎回ご出席の小田切先生もお元気に参加くださり、初めて参加の方もおられ、誠に賑やかに盛大に行われました。

開会の挨拶、乾杯、歓談と流れはいつもの通りですが、ニューヨークから参加の高橋さんからはトランプのその後、ロンドンから駆け付けた中川さんはBREXITの現状、北海道で医師の福原さんは医療と介護、奈良先端科学技術大学院大学の役員を務める野口さんからは科学技術教育について、等々、現代的課題の現場からの報告を生で聴くことが出来ました。

ジオラマ(情景模型)を趣味とされている坂江さんは、大泉の木造校舎の模型を持ち込んで皆に紹介してくれました。楽しく歓談した3時間もあっという間に過ぎて、例によって校友の歌で締めましたが、二次会に何と56名の方々が参加してくれました。

73歳、77歳(喜寿)、80歳(傘寿)での再会と幹事団からは今後の同期会のロードマップまで提案されました。大泉20期、これからも素敵な70代を交換しあっていきましょう。



高26期

大泉高校26期同期会

幹事一同

「つなげていこう 同期の輪」をテーマに、2年ぶりとなる26期同期会を、2019年11月16日(日)新宿プリンスホテルで開催いたしました。

恩師である松村雄二先生の出席を賜り、同級生83名が集いました。

16回目となる同期会。卒業して45年が経ち、60歳を過ぎ会

築根クリニック

東京都練馬区関町東1-22-11

TEL 03-3928-7868

<http://www.tsukune-clinic.com>

内科・放射線科
院長 築根 吉彦

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
AM 9:00~12:30	○	○	/	○	○	○	/
PM 3:30~ 6:30	○	○	/	○	○	/	/

社生活を終わる人たちも多く、あと1~2年で年金生活となる時期を迎えました。

同期会も過去を懐かしむとともに、それだけではなく将来へ向けての第二、第三の人生を「豊か」にするためにも「同期のきずな」が大切ではないかと考えた次第です。

それぞれの人生の中で、お互いを思い、また顔を見れば安心したり、懐かしんだり、お互いが豊かに感じられるようなつながりになればと考え、「これからよろしく」という思いを込め、「つなげよう同期の輪」をテーマにしました。



私たちの生活も、昨年末には考えられなかったような環境変化で、従来の延長線上ではなくなってきていますが、いかに環境が変わろうと大泉の名の下につながっていきたいと思います。

同期会のお知らせ

●高12期

最後の同期会を10月12日(月) 12時から中野サンプラザにて開催。参加費は7,000円。往復ハガキにてご案内しております。ふるってご参加ください。

2007年から毎年開催してきましたが、今回を最後にする予定です。新型コロナウイルス感染状況により中止あるいは変更の場合は出席予定者に個別に連絡いたします。

同期会開催中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染の蔓延が終息しないことから、今秋に予定されていた下記の同期会開催の中止をお知らせします。

高校10期、13期、14期、16期、18期、21期、29期、36期

なお、次回開催予定等、詳細についてはいずみ会ホームページを参照ください。

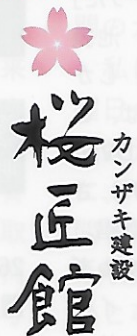
杉並区浜田山にカンザキ建設資料館【桜匠館】を上棟しました。

総ヒノキ造り目標 1000 年住宅の建築中現場をご案内しております。



【桜匠館（おうしょうかん）】では、失われつつある日本の伝統構法技術を今に甦らせるべく、匠の技を持った棟梁の手刻みによる総檜造りの建築工程を公開しながら施工する「生きた資料館」として進行中です。

長い歴史と伝統を持つ日本の木造建築を過去のものにせず、心ある方は和風・洋風を問わず太い柱で、総檜造りの本格的、本物の家をお建てになりませんか。



【ご案内】

杉並区浜田山 4-10-8

毎週土曜・日曜・祝日

10時～17時

03-3397-1150 (代表)

※ ご予約頂ければいつでもご案内いたします。



カンザキ建設 HiNOX 工法

東京都杉並区今川 3-20-5

TEL: 03-3397-1150

FAX: 03-3397-1170

mail: kanzaki-hinoki@hinox.net

<https://www.kanzaki-architects.com/>



会計部より・寄付・広告提供者一覧

昨年度も多くの皆様に同窓会費・寄付及び広告をご提供いただき、まことにありがとうございます。今回お名前を掲載しましたのは、次の方です。

① 寄 付 者 :

令和元年4月1日から令和2年3月31日の期間に寄付を頂いた方(終身会費を超えて振り込まれた場合は寄付として扱わせていただきました)。

② 広告提供者 :

会報いずみ64号に広告を提供していただいた方。

■ 会費納入の決まりは、

- ① いずみ会会員は、**年会費1,000円**を納入するものとします。ただし入会金納入者は、本会入会後7年目までの会費が免除されます。
- ② 会費免除の条件……年齢にかかわらず入会金を納入し、**累計45年分**の会費を納入した場合。ただし平成22年度分までは、全会員が会費を納入したものとみなされます。また、令和元年度までに、満70歳に達した方、ならびに会費納入を完了された方を除きます。(終身会費までの年数は、**ゆうちょ払込票**でご確認ください)

なお昨年度からゆうちょの振替手数料が大幅に値上がりしましたので、複数年分の納入をお願いします。

■ 高校41期から高校62期までの方を対象にコンビニからの振込が可能です。

昨年に続き試行ということで対象外の期の方にはご理解をお願いいたします。なお、コンビニからの振込は、3年分の会費3,000円の固定額とさせていただきます。3年分以外の年会費、またコンビニ払い対象外の期の方は従来通りゆうちょ振込または銀行振込にてお願いいたします。

■ いずみ会を維持・発展させるために、今後とも会費の納入・寄付のご協力をよろしくお願いいたします。

副会長・会計部長 山口 達夫(高20期)

e-mail : izumikai@v7.com

寄付者一覧(敬称略)

【中01】佐藤良矣、田中正三、樋田並照、浜中辰夫、鈴木孝、【中03】西村信友、【高02】柳井道夫、【高03】戸栗愛、小川陽弘、竹内巧、堀内洲、【高04】深水条輔、仁科和雄、猪谷千春、朝井昭明、比嘉高、【高05】斉藤毅、川津邦雄、大橋陽子、大澤登、田中房代、尾崎雄三、【高06】永井満、鴨田博伸、佐野弘太郎、鹿島一雄、森幹雄、村井淳一、太田毅、大沢輝夫、中里和夫、土屋雅春、藤森昭治、白勢瑛子、浜野章保、平野和夫、有田二郎、柚原修、【高07】三平千代子、青

木孝志、【高08】阿彦靖子、加瀬照代、小川洋子、杉浦五十鈴、浅野稠子、土屋美弥子、二宮靖子、武山誠子、【高09】羽田勇雄、鎌倉悦子、細田伸治、深町敏夫、畝村治男、石村進、福田稔、柚原美智子、澤口朝子、【高10】奥村博史、金沢健蔵、寺崎由紀子、成瀬済、大谷義彦、藤田肇、本橋達朗、藍原寧、【高11】塩野谷忠男、匿名希望、廣瀬芳子、【高12】塩田順康、篠義通、小野田敦子、中沢勲、梅田忍、飯沼光子、【高13】安達宏鎮、稲垣仁義、関直樹、戸田一誠、高津幸一、小浜佐紀子、杉浦和子、菅原玲子、竹内洋重、中本攻、田中昇次、【高14】高木登茂子、神崎隆洋、早川希尹子、大串康夫、長谷正道、豊島恭、鈴木富美子、國谷俊之、【高15】久保田繁、桑名晏子、前久保博士、村上広、天埜智雄、渡辺浩通、保科欽司、【高16】橋元宏、佐藤由紀子、森真人、清水正子、滝沢建子、飯島信枝、柳瀬正敏、【高17】能美卓爾、堀江悠子、【高18】山田邦武、寺島孝、酒井陽三、住永憲治、正木達夫、青木隆、田瀬則雄、野辺裕治、矢島直子、【高19】稲垣正久、橋本ゆり、高辻哲、佐久間優行、小山雅文、常木小由子、森崎満里子、水野國雄、匿名希望、濱田國夫、【高20】遠藤隆久、岡田重道、加藤敬子、玉置敏夫、金子研一、三上恵只、星野秀樹、藤井みずず、内堀真史、尾崎彰夫、福原正和、【高21】奥田秀實、佐々木進、中根朝子、田邊夏樹、渡辺啓子、浜口はるみ、【高22】花澤亮司、原隆弘、高橋ゆりあ、山之内裕、水谷三枝子、平井秀明、【高23】牛山静、篠崎郁子、赤松敏子、【高24】吉岡由美、檜山博子、【高25】高橋徹、福井紀恵、【高26】加藤尚子、山本勉、山本晃、山野辺裕子、森菊江、川俣裕之、藤本吉彦、武井好三、平野弘道、【高27】岸本三佳子、荒賀康德、野口重雄、濱田和章、【高28】京角紀子、九頭見祐子、清水義裕、清水由里、内島寛之、【高29】笠浩一郎、西村克之、【高30】鎌田智彦、大坪由佳、大島寛治、片桐俊明、【高31】関島勝巳、寺尾秀司、矢崎千枝、【高32】昇多加代、【高34】平田英一郎、【高35】匿名希望、沼田洋一、【高42】森山法人、【高45】渋井豊一、【高47】吉越一磨、渡辺弘毅、【高50】山田路津子、林大亮

広告に御協力いただいた方(敬称略)

高14期 神崎 隆洋 (カンザキ建設)

高14期 高木 登茂子 (高木自動車)

高18期 築根 吉彦 (築根クリニック)

■ 年会費の銀行振込による納金も可能です。

○振込先

三井住友銀行 武蔵関(ムサシセキ)支店 普通口座
口座番号 No.6864113「いずみ会会計部長山口達夫」

○振込者名

(例) K200649 オオイズミ タロウ

必ずお名前の前にIDをつけてください。

(会員IDはゆうちょ銀行払込票で確認できます)

○振込手数料はご負担願います。

声

★地方住まい、色々な報道を楽しくよんでいます。★会報楽しく拝見しました、学校の様子もうかがえました卒業生で活躍された方々のインタビューなど会報で見られたらうれしい。★長野の地からあの広い校庭や校舎を思いおこし「いずみ会」を応援しています。★幹事をしたり、北鎌倉のツルツルすべる尾根道を歩いたり思い出が一杯！★「ちとせのむかし…」で始まる校歌合唱できるのは「いずみ会」大事にしたい同窓会です。★桜の頃は主人と二人で母校へ、綺麗な桜うれしいです兄弟全部大泉、仲良く旅行等楽しんでます。★ホームカミングデーには特別な装花を制作予定です。皆様にお楽しみ頂ければ何よりです。★3月の同期会に参加、久しぶりに皆と会えて嬉しかったです。★遠隔地で欠席します。ホームカミングデー他のご盛会をお祈りします。シニア仲間とテニスを楽しんでいます。★電車で大泉高校近くを通る時、大きな時計を見て嬉しく、在校生の活躍横断幕を見て「頑張れ」と心の中で叫びます。★会報の発行を心待ちにしている一人です。母校の様子や生徒の活躍、進路状況等、情報を知る機会を与えられて嬉しいです。ホームカミングデーの盛況を願ってます。★高齢者施設等を訪問し、手作り紙芝居&手品のボランティアを行なっております。★母校大泉Home-coming、したいです。★懐かしい大泉！半世紀以上すぎてしまったのですね。★古希を迎えました。あちこち痛いと言いながら、何とか元気に過ごしております。いずみ会の発展を祈念しております。★会報楽しみ、スッキリ、読みやすくなった気がします。★“声”の質問に回答がいいですね。★神社仏閣史跡

巡りをしています。月1ゴルフ、プール、ハイキング等で体力維持に努めています。★スポーツクラブでスイミングetcをして体調を整えています。「会報いずみ」楽しみにしています。★同期は一昨年の同期会を機に男女問わず交流がとて盛んになりました。★大泉中高の箏曲を指導しています。昨年に続き今年も演奏させていただくようで、ありがとうございます。★40年以上前、桜並木の花吹雪に迎えられて入学、並木横のバレーコート、部活で汗を流しました。会報で先輩方の元気なお姿や投稿に感動しています、これからも今昔の情報を楽しみにしています。★同期会の写真やコメント、楽しかったです。遠方でなかなか出席できません、これからも楽しみに！★とても活気ある学生生活が窺えて嬉しく思いました。★文化祭のお手伝いに参加して、活動を知りました。校内も見学できて嬉しかったです。★北海道までいずみ会の活動がしっかり届いております。引き続きよろしくお願いします。★体育祭の記事、私たちの頃の光景を思い出し、各団全員のパフォーマンスを見たくなりました。★同窓会に出席しました。卒業後39年ぶりに大泉気分になり楽しい時間を過ごすことができました。年をとり母校愛に目覚めました。★卒業以来初めて軟式テニス部同期4人で高校に行きました。あまりの変化にビックリ！！当時をしのばせる場所楽しかったです。★大泉学園を通り電車からきれいに大きい学校が見え、感無量の気持ちでいっぱいになります。★0～9の会でもちまわっていくというしくみ面白いと感じております。ご盛会をお祈りしております。★東京に帰省した時は高校の友達に会っています！！大泉高校は楽しい思い出がいっぱいです。

皆様から寄せられた“声”の一部です。紙面の都合上掲載できなかった“声”はHPにて紹介させていただきます。

追悼 ご冥福をお祈りいたします

■会員訃報 (敬称略)

期	現姓	逝去			
中学1期	羽鳥 忠男	2019. 9. 17	高校8期	渡辺 篁子	2019. 8. 27
高校5期	芝山 秀太郎	2019. 10. 26	高校8期	石岡 (土屋) 嘉子	2019. 7. 3
高校5期	尾崎 雄三	2020. 3. 3	高校9期	吉田 仁彦	2020. 7
高校5期	浅見 進	2019. 6. 18	高校9期	小川 忠夫	2019
高校6期	岩田 (高橋) 敦子	2020. 7. 12	高校10期	本橋 登	2019. 5. 26
高校6期	村井 和郎	2020. 4. 10	高校12期	森田 幸子	逝去日不明
高校6期	渡辺 昭昌	2020. 3. 23	高校12期	五十嵐 洋治	逝去日不明
高校6期	大関 修三	2019. 7. 25	高校12期	脇川 佳都子	2019. 11. 27
高校6期	工藤 一星	2019. 12. 15	高校14期	大野 淳三	2020. 3. 1
高校6期	古野 二三也	2019. 5. 8	高校14期	木村 (茂) 優子	2019. 7
高校6期	中里 和夫	2019. 6. 23	高校17期	加藤 博司	2020. 1. 14
高校7期	栗原 洋一	2020. 2. 29	高校18期	波頭 眞一	2020. 4. 22
高校7期	藤間 康弘	2019. 11. 22	高校18期	岡部 睦生	2019. 8
高校7期	佐野 博司	2019. 10. 25	高校18期	古橋 徹	2019. 3. 23
高校8期	岸崎 隆生	2020. 1. 16	高校18期	市古 夏生	2019. 9. 26
高校8期	稲垣 幸子	2020. 1. 1	高校21期	八幡 (鈴木) 季子	2016. 7. 11
高校8期	高雄 俊二	2019. 1. 28	高校21期	奥田 秀宇	2019. 4. 22
高校8期	那須野 恭一	2020. 3. 25	高校25期	相京 典子	2019. 12. 28
			高校29期	池田 (佐藤) 意都子	2020. 3. 2

人材バンク登録のお願い

いずみ会では学校より依頼を受け、職業講話等に講師を派遣しています。皆様の経験と知識を後輩のためにお役立ていただき、後輩との交流を体験してみませんか？同時に会員相互の活動にもご協力いただければと考えております。ご協力いただける方は同封の返信ハガキ裏面に詳細をご記入いただきお申し込みください。後日人材バンク部よりご連絡を差し上げます。
(5・6・7面にキャリア教育活動の様子を掲載しています)

いずみ会文庫

皆様の著作を寄付ご希望の方は、まずいずみ会窓口へご連絡ください。担当者が対応いたします。寄贈いただきました著作は母校図書室「いずみ会文庫」コーナーに設置され、生徒たちが自由に閲覧できます。

高71期の
みなさん!!

令和3年に成人式を迎えられる高71期ご卒業の皆さん、少々早めですが、おめでとうございます。コロナウイルス感染症の影響で成人式自体どのようになるか不明ですが、開催できる！ことを前提に、皆さんが2年ぶりに集う会を、学校・PTA・いずみ会が応援させていただきます。開催の場合は12月初めに詳細を71期幹事よりお送りします。楽しい会ができますように！！

不要ないずみ会名簿について

いずみ会名簿は個人情報ですので不要の場合の処分に際しては細心の注意を払って行うようお願いいたします。いずみ会では、下記の方法による返却を受け付けています。ご活用ください。

①評議員会・総会へご持参ください

②宅配便・着払いにて下記へ送付ください

〒158-0091 世田谷区中町3-24-8-209
岩崎 誠(会員情報部長)

総務・企画部より

●来年は「0」の会

今年の文化祭、ホームカミングデー・総会・懇親会が中止となったため、「0」の会の皆様(10・20・30・40・50・60・70期)には来年度ご活躍頂く事になります。よろしくお願いいたします。

●同期会を開きましょう！

同期会幹事の皆様、いずみ会では同期会開催のため以下のお手伝いをさせていただきます。

- ①宛名ラベルの作成 ②名札作成 ③名札ケース貸与
- ④同期会開催を会報・HPにてお知らせ
- ⑤校歌・校友の歌音源貸与

とくに、初めて開催される期にはご案内郵送費の一部を負担するサービスもあります。この機会に同期会開催をぜひご検討ください。ご相談はいずみ会窓口まで。

いずみ会窓口

〒178-0063 練馬区東大泉6-34-30 SKビル305号

e-mail : izumikai@v7.com

総務・企画部長 真柳 仁(高24期)

*会費・寄付⇒会計部

*住所変更・逝去連絡・あて名シール希望等⇒会員情報部

*そのほかご質問・ご意見・いずみ会室利用申し込み
⇒総務・企画部

*HP掲載希望等⇒HP部

*人材バンク登録等⇒人材バンク部

*会報投稿等⇒会報部

住所変更の連絡のお願い

会報発送の他、各期同期会開催のお知らせ、評議員会通知等のいずみ会からの連絡には、現在お住まいの正しい住所の把握が必須です。お住まいが変わられましたら、同封の葉書で、または、上記のいずみ会窓口までご連絡をお願いします。

★太陽のコロナは眩しいけれど地球のコロナは病の元、飛行機や新幹線が空気だけを運ぶ器に変身してしまったこの半年、私たちの生活も様変わりしました。「マスク」「三密対策」「ホームワーク」等、今迄考えられなかったことが身近で興っています。★コロナで息苦しい生活を余儀なくされている毎日、蛮勇を奮って上野の美術館に！インターネットでの事前予約は入場時間まで指定制、会場では予約時間ごとの入場制限、お蔭で何時もの混雑がうそのようにゆっくり鑑賞できました。怖いコロナも十分な対策をすることで活用次第？ ★この64号の編集、コロナ感染防止対策としてメール会議開催での編集・校正となりました。お手元に届くまでに、この「コロナ禍」が収まっていることを願っています。65号からは限定会員への会報送付に変更となります。一人でも多くの方にお届けできるように皆様のご協力をお願いします。

作った人：金子研一、浜田光、植村久、田邊夏樹、古畑基樹、荒井真理子、富井利尚

2021年度 いずみ会 総会・懇親会・ホームカミングデーのご案内

「0のつく期の皆様」

今年はいずみ会総会が中止と決まりました。企画をお手伝いしお世話をする「0の会」は、来年担当させていただきますことになりました。

人類の英知がコロナを克服できるかは、役割こそ違え私たち一人一人が、刻々と状況が変化する中で、正しい認識と正しい行動を心掛けることによるものと思われます。

来年の総会がどの程度の状態で迎えられるかは、今の時点で見通すことはできませんが、今よりも未知が既知となり見えてくるでしょう。

その時点で現役の皆さんを心から激励出来て、集うOB・OGの面々が笑顔を交換できるような安全で、明るいホームカミングデー、総会、懇親会を作り出していきたいと思います。皆様の、積極的な参画をお願いいたします。

「0の会」会長 関屋 収 (高20期)

いずみ会会長 荒井 眞理子 (高20期)

2021年度(令和3年度)からの「会報いずみ」配布について

本年5月の評議員会(書面審議にて開催)の折に報告事項として資料(HP掲載)にありました「令和3年度からの会報配布について」改めてお知らせいたします。

まず、お伝えしなければいけないことは「会報」は会員の皆さんといずみ会を結ぶ大きな手段であるということです。同時に会報の発送は財政面で支出に大きな比重を占め、負担が増しているのも事実です。情報発信・交換の大事な手段であることを踏まえ必要な出費として単年度赤字はやむを得ないと評議員会でも理解されてきました。いずみ会赤字発生のもうひとつの理由は毎年の会費収入が10万円ずつ減少してきていることと、70歳で会費免除になるため、納入対象者の数も減少してきていることです。会費納入制度(3面参照)の改正もその結果を見るまでには時間がかかります。

そこで、総支出の内約40%を占めている(2019年度)会報発送関連費に関して少しでも工夫をしていこうと、会報発送についても下記条件に合致する会員に限定して配布させていただく事にいたしました。この発送数改定によって直ちに年度内赤字を解消するには至りませんが、少なくとも赤字幅が半減することを期待しています。

会報をお読みいただいている方でもしも「あ!」と思われる方はゆうちょ銀行払込票に情報が記載されていますので是非ご確認をお願いいたします。

会報を発送する対象会員

- ① 翌年度総会懇親会担当の期全員 2021年は「1」のつく期
(10年に一度はお手許に届きます)
- ② 上記以外の期(2021年の場合)
 - 1) 中1期～高13期 … 全員に発送
 - 2) 高14期～高20期 … 2011年度から70歳に達するまでのいずれかの年に
会費あるいは寄付の納入があった方。
 - 3) 高22期～高62期 … 直近数年間に会費納入の実績があった方。
 - 4) 高63期～高72期 … 全員に発送(会費納入対象年度に達していない)

「会報」はいずみ会の主要な情報発信・情報交換の場であります。

この「会報」の全員発送を見直さざるを得ないいずみ会財政状況をご理解いただき、この機会に未納になっている会費納入、並びに寄付をお願いいたします。

2021年以降一人でも多くの会員に「会報」をお届けすることができることを願っています。